

胃内視鏡的粘膜下層剥離術を受けられる患者さまへ

入院診療計画書

説明年月日

年 月 日

消化管内科 ()病棟 ()号室

患者さま氏名:

病名:

入院目的:手術目的

手術内容:

推定される入院期間:約8日

特別な栄養管理の必要性 有・無

	入院日	手術当日	術後1日目
内服	持参薬の確認をします 抗凝固剤を服用されていた患者様は中止されていますか? 夕食後に胃粘膜保護の内服をしていただきます タケキャブ(20)・・・1回1錠 	持参薬のうち、主治医の許可したものを服用いただきます 治療後、胃粘膜保護の内服をしていただきます アルロイドG・・・1回20ml 	胃粘膜保護の内服をしていただきます 10時・15時・20時にアルロイドG・・・1回20ml
点滴		朝8時(午前中に手術の場合は6時)より、持続点滴をします 治療後、潰瘍治療薬の注射があります	持続点滴です 朝・夕に、潰瘍治療薬の注射があります
処置	体温・血圧・脈拍を1回/日測定します 	肺血栓塞栓症予防のため、弾性ストッキングをはいていただきます 体温・血圧・脈拍を4回/日測定します 手術後より、腹痛・吐気・嘔吐・下血がないか観察していきます	体温・血圧・脈拍を3回/日測定します
検査	レントゲン撮影・心電図の検査があります 必要時、採血があります 		採血、レントゲン撮影、胃カメラがあります
食事	常食(必要時治療食)	朝から絶食です 午前中の検査の場合朝7時以降 午後の検査の場合は朝11時以降、水分摂取も禁止です 内視鏡室に行く前に排尿をしていただきます 必要時、尿のくたをいれます。	朝から水分が飲めます 
排泄			
清潔	入浴できます		全身清拭・洗髪をお手伝いします
安静度	制限はありません	治療後、ベッド上安静です 	棟内歩行できます
説明・指導・リハビリテーション等の計画	ネームバンド装着 看護師により入院時オリエンテーションがあります 医師から内視鏡的粘膜下層剥離術の説明があります	入れ歯・指輪・時計・眼鏡・コンタクトをはずしてください 術後、手術結果の説明があります	

注1) 診察内容は現時点で考えられるもので、今後検査を進めていくに従って変更する場合があります。その場合は再度説明いたします。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです。

主治医署名

主治医以外の担当者署名

上記の通り、治療計画について十分な説明を受けましたので同意します。

年 月 日

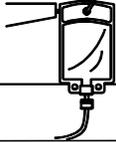
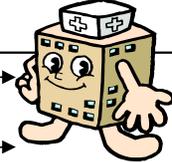
患者本人署名

親族又は代理人署名

(患者との続柄 :)

胃内視鏡的粘膜下層剥離術を受けられる患者さまへ

患者さま氏名：

	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目 退院	退院後の療養上の注意点
内服	胃粘膜保護の内服があります 10時・15時・20時に アルロイドG・・・1回20ml 朝に胃粘膜保護の内服として タケキャブ(20)・・・1回1錠 の内服があります					<ul style="list-style-type: none"> ・治療時に出された薬は毎日、忘れずに飲みましょう ・退院後、1週間は胃の負担にならない消化のよいものをとりましょう ・辛いもの、ニンニクなどの刺激物は避けましょう コーヒーなども避けましょう ・次回外来受診まで、禁酒・禁煙をしてください
点滴	点滴は1日3本です	点滴は1日2本です 				
処置	体温・血圧・脈拍を1日1回測定します					
検査				採血があります		
安静度	院内歩行ができます					
食事	夕から3分粥食が開始になります	夕から5分粥食になります	昼から7分粥食になります	朝から全粥食になります	朝から常食になります	<ul style="list-style-type: none"> ・次回外来受診まで、入浴で湯につかるのは約15分以内としましょう ・急激な腹痛・吐血・下血(黒っぽい便)など、気になることがあれば、早めに病院に
清潔	シャワーができます					
説明・指導・リハビリテーション等の計画	強い腹痛がある時は看護師にすぐお知らせください 便が出たときは、流さずに看護師にお見せください (出血がないか確認いたします)		 栄養指導 (希望により行います)			外来：0798-45-6200 時間外：0798-45-6111

※状況により変更することがあります。ご不明な点があれば、おたずねください。

兵庫医科大学病院 消化管内科 2020.10.1 改訂 72016-00